

博樹先生

テンポのよい講義ありがとうございました。

一番働きにくい人たち

かなり若いうちから家族のケアから逃れられない人

生老病死を子どもが生まれた瞬間から俯瞰してしまう人たち

親なきあとの心配も同時にふりかかってくる人たち

障害児のお母さんたちかなと思います。

この障害児のお母さんが、職につけて子どものケアも楽しく

できるときが来たらワークライフバランスの達成かもしれません。

と、一人で思っています。

私自身が、この立場であるのですが、

仕事は諦めて、

仕方なく

法律や制度を変える運動をしてきました。

でも、お金は欲しいです!

せめてベーシックインカムみたいなものがあればよいです!

博樹先生のおっしゃるように

制度があると機動的でなくなってしまうですね。

このことは、改めて気づかされました。

ありがとうございます。

それから「はたらく」ということ自体が、

新しい理念のシャワーを

あびなければならぬ時期にきているのではないかと感じました。

お礼まで

内山和枝